

平成26年2月6日

長野県知事 阿部 守一 様

長野県救急医療機能評価委員会  
委員長 岡田 啓治

長野県救急医療機能評価委員会（現地調査）の結果について（報告）

平成26年1月24日（金）に実施した機能評価（現地調査）の結果について、下記のとおり報告します。

## 記

### 1 調査対象施設 佐久総合病院佐久医療センター

### 2 機能評価結果

佐久総合病院佐久医療センターは、東信ブロックの三次救急医療を担うための十分な施設と設備を備えており、救命救急センターとしての高い機能が確保されるものと見込まれる。

ただし、今後の一層の機能充実のため、以下の点について改善を要望する。

(1) 佐久総合病院本院も含め、東信ブロックの一次から三次までの救急医療体制について、改めて整理した上で、以下の事項を推進願いたい。

- ① 地域の他の医療機関との機能分担と連携
- ② 佐久医療センターの医療機能についての地域住民の理解

(2) 41万人の人口を抱える東信ブロック唯一の救命救急センターとして、救急搬送によらない外来患者についても、佐久総合病院との連携を取りつつ、可能な限り患者の負担にならず、セキュリティ上も問題のない動線の確保等適切な対応をお願いしたい。

(3) ICU、HCU等重篤患者用の病床の割合が高いため、以下の事項を推進願いたい。

- ① 看護師等の医療従事者の確保対策
- ② 患者の在院日数の考慮、当面の救急部門（脳卒中・循環器及び周産期を含む）とがん診療部門の診療体制の考慮など病院運営の方向性の検討

(4) ICU、HCU等において、以下の事項を改善願いたい。

- ① 部外者が侵入できないようにするためのセキュリティの改善
- ② 面会者が病室を間違えることがないようにするための対策
- ③ 患者家族の取り違えが起きないための必要な対策